

解 答 速 報

近畿大学 一般選抜後期

英語

1	2	3	4	5	6
エ	ウ	エ	ア	エ	ウ

7	8	9	10	11	12	13	14	15
エ	イ	ウ	ア	ア	イ	エ	エ	ア

16	17	18	19	20	21	22	23
エ	エ	イ	ウ	オ	ア	イ	ウ

24	25	26	27	28	29	30	31
エ	オ	イ	ア	ウ	イ	イ	オ

32	33	34	35	36	37	38	39
ウ	オ	イ	ア	ア	オ	ウ	オ

～講評～

各大問の問題数・問題構成にはまったく変化がなかった。

問題 A・B・C :

(5)は多少難しめの出題かと思われるが、be predisposed to do ～「～する性質・傾向がある」には、日頃の学習で出会ったことのある受験生もいたであろう。(C)は読解して意味の類推をすれば入れやすい問題が多かった。(14)・(15)のように動詞の活用を問うものは拍子抜けしたかもしれないが、確実におさえたい。この3つの問題は、どれも例年より取り組みやすかったと言える。(昨年の後期も、(A)～(C)は取り組みやすかった)

長文1 (問題 D・E) :

「人間が作った物質を巣作りに利用するカラス科の鳥たち」についての英文。そこまで判断に苦しむ問題はなかった。慎重に選択肢の審議、消去法を行ってミスを防ぐ必要がある。

長文2 (問題 F・G) :

「北里柴三郎の簡略な年代記」の英文であった。こちらも英問の意図をしっかりと読み取り、本文の該当箇所との照合をすれば、そこまで消去に苦しむ問題がなかった。

長文3 (問題 H) :

「逆浸透膜を用いた海水の淡水化(脱塩化)の新たなアプローチ」を述べる英文であった。(39)以外は例年通り全て問題の出題の順序と英文の流れが一致していた。((39)の該当箇所はP3の第5文であった。)

長文に関しては該当箇所を発見して、内容審議・消去法を行うのに時間がかかる印象だが、この出題形式になってからやっと分量も安定してきたので、必要な処理スピードを身に着けたいところである。全体としては前期よりやや易しめな問題が多かった印象である。合格には70%を目指したい。



メルマガ登録(無料)またはLINE公式アカウント友だち登録(無料)で全教科閲覧できます!
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校</p> <p>☎ 0120-142-760</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校</p> <p>☎ 0120-148-959</p> <p>名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校</p> <p>☎ 0120-142-767</p> <p>大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町校</p> <p>TEL : 050-1809-4751</p> <p>東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>ビッグバン京都校</p> <p>TEL : 075-746-4985</p> <p>京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p>医特塾 阿佐谷本校</p> <p>TEL : 03-6279-9927</p> <p>東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>